

# 医業の現場から 経営

file119 関東・甲信越地区

## 専門医療の実現に向け 幅広い人脈を生かす

### 患者に伴走する 医療の実現へ

長野県松本市の中心部にほど近い住宅地に3年前に開業した百瀬整形外科スポーツクリニック。白と濃灰色を組み合わせた清潔感溢れる2階建のメイン棟があり、1階がクリニック、2階がフィットネスジムになっている。駐車場の奥には広々とした屋根付き人工芝フィールドがあり、スポーツ整形に情熱を注ぐ百瀬能成院長の意気込みが伝わってくる。

百瀬院長は、医師としてのキャリアを積む過程でプロサッカーチームとの関わりが格段に多かった。しかし、わが国のスポーツ整形外科分野はいまだ黎

明期。勤務先の病院でも、患者に負荷をかけながら科学的にデータを取りながら治療するといった手法は実務上不可能だった。「人間の自然治癒力を利用して、安静ではなく運動をさせながら回復まで患者に伴走する医療を提供したい」。そんな思いの高まりが開業の大きな原動力になったという。

幸い当地にはスポーツ整形外科を標榜するクリニックがなかったことも後押しした。イメージモデルとなったのは東京都北区にある国立スポーツ科学センターだ。医師がいてMRI等の検査機器もあり、治療に向けたリハビリまで1カ所でできるこの施設のミニチュア版を、松本で実現したいとの願望がスポーツクリニックに体现された。

### 一般社団法人で 営利事業も可能に

事業構想の実現に当たっては、学生時代の同級生を通じ、医業経営コンサルタントが開業支援業務を担うこととなった。院長の構想を形にするまでのヒト・モノ・カネとその運用に、医業経営コンサルタントがどう関わったのか。

まず、クリニックの開業主体について。当クリニックは一般社団法人が経営主体となっている。そのため、営利事業としてのフィットネスクラブや、人工芝フィールドも同じ一般社団の事業として併営できる仕組みだ。開業支援にあたった税理士法人は、この手法を院長に提案、関係諸官庁との交渉を経て実現させた。

続いて人工芝フィールドを併設できるほどの広大な敷地探しがハードルとなったが、市街化区域内にある卸売市場の移転情報が舞い込み、院長の構想の公共性の高さが認められ、用地獲得が可能となった。多額を要する事業資金の調達も、税理士法人が地元で築いてきた長年の信用が金融機関の融資審



広々としたリハビリ室

査の後ろだてとなった。

人材の中心となる10人の理学療法士は、スポーツ整形分野に興味を持つ若手が多いことから、リハ実績は当初計画の3倍と相当過密な状況だが、人員確保に不安はないとのこと。集患に欠かせないホームページの制作は院長の同級生が担っている。ホームページの内容が良くできているだけでなく、Web上の内容に誇張がないのも患者の信頼醸成につながっているようだ。

### 患者を呼ぶ 「ペイシェントファースト」

現在1日当たり平均患者数約180人を1診で対応している。院長曰く「初診・クリニックでの医療提供→リハビリ(人工芝フィールド利用も)→医療フィットネス(自助での回復)の流れをもう少し増やせたら」。とはいえ、患者をスポーツ系に絞ることは考えていない。後期高齢者も2割程度いるため、午前が高齢患者、午後は運動部学生と概ねすみ分けてきているのも良い流れとのこと。

開業後早くも計画以上の患者が確保できているのは、大規模な設備投資と事業多角化が奏功

しているのみならず、院長が常に従業員に目標として与え行動規範とさせている「ペイシェントファースト(患者第一)」が結果に表れているからだ。ちょっとした職員同士の意見の齟齬があった際は、院長から「ペイシェントファーストになっているか?」と声を掛けて思考の軸がぶれないように指導するという。他方、患者サイドには数値的に身体の状態を提示できるよう、三次元測定機、バイオテックスなどの分析装置を導入し、目で見て納得できる医療提供を特色としている。アスリートも一般患者も基本方針は一緒で、本人の治癒力が高めながら治していく方向性は変わらないと院長は語る。

今後は、地元球技チームにトレーナーを派遣したり、ウインタースポーツ系の競技者のケア



光学反射式三次元動作分析装置



代表理事・院長 百瀬能成氏

2002年3月新潟大学医学部医学科卒業、2004年10月信州大学医学部運動機能学教室整形外科入局。その後、医局関連病院で勤務。2015年4月抱生会丸の内病院整形外科科長・スポーツ医学センター長、2019年4月松本大学人間健康学部講師(兼任)、2021年10月百瀬整形外科スポーツクリニック開設。日本整形外科学会専門医(機構専門医)・指導医、同学会認定運動器リハビリテーション医・認定スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター、日本医師会認定健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医。医学博士。

拡大にも意欲を示す。

人工芝フィールドに人工芝を敷設する資金はクラウドファンディングにトライし目標額確保にこぎつけたとのこと。こうした活動も地域企業・団体との関係拡大が期待できるところだ。そんな発展基調のクリニックとそれを緑の下で支える医業経営コンサルタントのタッグにも大いに期待がかかる。



筋機能評価運動装置

### 一般社団法人 MOSC 百瀬整形外科スポーツクリニック 概要



- 所在地 長野県松本市笹部 1-5-30
- 代表理事・院長 百瀬能成
- 診療科 整形外科、リハビリテーション科、スポーツ外来
- 従業員 整形外科専門医1人、理学療法士10人、柔道整復師2人、看護師4人、診療放射線技師3人、医療アシスタント5人、健康運動指導士5人



屋根付きの人工芝フィールド。クラウドファンディングで1,000万円の資金を募り実現